

登録コード:MH405300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	作業療法研究法【20M以降】 Occupational therapy research			
担当教員	務臺 均 他 佐賀里 昭			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻 / 3年生 後期 水曜・1 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 1 2 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	授業の達成目標		
	MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	作業療法における研究活動の意義を理解し説明できる．基本的な研究デザインを理解し説明できる．質の高い文献が検索でき、人に分かりやすく説明することができる．研究の倫理について理解し説明ができる．保健学科倫理審査申請書を指導を受けながら記載することができる．研究論文の書き方を理解する．統計解析の種類と方法を理解し、パソコンの統計ソフトで解析することができる．		
	多くの学問分野に接して幅広い教養と探求的、創造的思考を身に付け、保健・医療の専門職者として必要な学修課題や目標を自ら設定し、常に課題の克服や目標達成に取り組むことができる。	作業療法の領域における研究方法の知識を習得し、臨床疑問について解決していける創造的思考を養う．		
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	作業療法における研究活動の意義を理解し説明できる．基本的な研究デザインを理解し説明できる．質の高い文献が検索でき、人に分かりやすく説明することができる．研究の倫理について理解し説明ができる．保健学科倫理審査申請書を指導を受けながら記載することができる．研究論文の書き方を理解する．統計解析の種類と方法を理解し、パソコンの統計ソフトで解析することができる．		
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	作業療法の領域における研究方法の知識を習得し、臨床疑問について解決していける創造的思考を養う．		
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	作業療法の研究領域と研究活動に必要な倫理を学び、研究活動の意義と必要性について学習する．研究の類型とデザイン（文献研究・実験研究・調査研究・事例研究等）および論文作成の手順を学習する． 本授業は、1年次に学んだ「学術リテラシー」「データサイエンスリテラシー」、2年次前期に学んだ「作業解析学実習」の知識が前提となります．そして、本授業の内容は、4年次の「ゼミナール」（卒業研究）における重要な基礎知識・技術となります． 本授業は、担当教員の医療機関および大学における研究者としての実務経験を活かして講義を行います．			
授業計画	第 1回（ 9月30日）研究の意義と目的、方法とデザイン（務台） 第 2回（10月 7日）事例研究・シングルシステムデザイン（佐賀里）小テスト 第 3回（10月21日）研究の倫理、倫理審査申請書の作成（務台）小テスト 第 4回（10月28日）研究成果の報告、論文作成方法（務台）小テスト 第 5回（11月 4日）統計解析1（教科書Lecture 1, 2, 3）（務台）小テスト 第 6回（11月11日）統計解析2（教科書Lecture 4-6）（務台）小テスト 第 7回（11月18日）統計解析3（教科書Lecture 11, 12）（務台）小テスト 第 8回（11月25日）統計解析4（教科書Lecture 7-9）（務台）小テスト 第 9回（12月 2日）統計解析5（教科書Lecture 10, 14）（務台）小テスト 第10回（12月 9日）統計解析6（教科書Lecture 13, 15）（務台）小テスト 第11回（12月16日）文献レビュー1（務台・佐賀里） 第12回（12月23日）文献レビュー2（務台・佐賀里） 第13回（ 1月 6日）文献レビュー3（務台・佐賀里） 第14回（ 1月13日）文献レビュー4（務台・佐賀里） 第15回（ 1月20日）文献レビュー5（務台・佐賀里）、授業アンケートの実施 第16回（ 1月27日）期末試験（務台）			
授業の進め方	・授業は教科書、配付資料に沿って進める． ・授業に参加するにあたり、授業の予習と前回授業の復習を行って臨むこと． ・授業のはじめに予習・復習を通して学んだ内容に関する小テストを行う． ・4年次に卒業研究を実施するにあたり、APRIN eラーニングプログラムを受講してもらいます．10月21日の授業でやり方を指導しますので、自己学習で進めてください．11月25日締切で修了証を務台に提出してください． ・統計解析（11月4日～12月9日）は、統計解析ソフトを用いて演習を行うので、自分のパソコンを持ってきてください． ・文献レビューは、作業療法の論文を一つ選び内容をまとめて（研究目的、対象、統計解析、結果の解釈、考察）プレゼンテーションしてもらいます．11月中旬ごろから準備を始めてください．論文は「American journal of occupational therapy」「British journal			

授業の進め方	of occupational therapy」「Canadian journal of occupational therapy」,「Australian occupational therapy journal」「Clinical Rehabilitation」「Disability and Rehabilitation」「Archives of Physical medicine and Rehabilitation」の上記雑誌からOT関連の研究を選んでください。これ以外の英文雑誌でもインパクトファクターの付いている雑誌であればよいです。症例報告は不可です。発表する論文が学生同士で被らないようにしてください。事前に自分で選んだ論文が発表に適しているか務台に確認してください。 ・文献レビューはパワーポイントのファイルにまとめて発表してもらいますが、詳細は授業で説明します。
テキスト,教材,参考書	教科書 1) 友利幸之介,他:作業で創るエビデンス(医学書院) 2) 石川朗,種村留美編:リハビリテーション統計学第2版(中山書店)
成績評価の方法	小テスト,プレゼンテーション(文献レビュー),期末試験に基づいて成績を総合評価します。小テストは毎回授業のはじめ(第2回~10回)に行います。文献レビューは第11回から第15回,期末試験(筆記)は第16回(1月27日)に実施します。評価の配分は,小テスト40%,プレゼンテーション20%,期末試験40%とし,総計の60%以上の得点を合格とします。 達成目標について,研究活動の意義,基本的な研究デザイン,臨床研究の倫理,保健学科の倫理審査申請書,研究論文の作成方法,統計解析の種類とその活用方法については,小テストや期末試験にて確認します。達成目標について,プレゼンテーションにおいて創造的思考を確認します。
成績評価の基準	出席,小テスト,期末試験,プレゼンテーションによる総合評価の判定基準は以下の通りとします。 90-100点:秀 80-89点:優 70-79点:良 60-69点:可 【筆記試験】 小テスト,期末試験については,それぞれの得点を配分に換算する。 【プレゼンテーション】 選択した論文の質,パワーポイントの見やすさ,発表の分かりやすさを基準に判定します。 これらの採点の基準は,達成目標に関連した設問に対する選択肢解答の正誤だけでなく,記述式解答における用語の適切さ,説明内容の範囲の広さや詳細さ,説明内容の論理的な妥当性などを指標とし,授業で説明した範囲における最低限の発表・解答内容であれば「水準にある」,やや詳細な発表・解答内容であれば「やや上にある」,十分に詳細な発表・解答内容であれば「かなり上にある」,授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な発表・解答内容であれば「卓越している」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習】 第1回目の予習内容は,教科書「作業で創るエビデンス」10-25頁,122-137頁を熟読してすること。それ以降については講義の際に予習課題を提示します。 【事後学習】 基本的には,講義で扱った範囲の内容や資料,教科書を各自復習してください。小テストの範囲となります。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため,以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間(2時間×15回)+自己学習時間15時間(1時間×15回)=45時間
学生へのメッセージ並びに質問,相談への対応	専門知識と技術を発展させていくために研究活動が欠かせない。研究活動の目的と方法について十分理解してほしい。 質問・相談は教員が南校舎2階務台研究室または佐賀里研究室に在室の場合は,随時受け付けます。またEメールでの質問やアポイントの連絡も随時受け付けます。 質問への対応:務台 均 hitmutai@shinshu-u.ac.jp :佐賀里昭 sagaria@shinshu-u.ac.jp